

# 授業改革と 動き育てる組織づくりの ススめ vol.1

石狩教育局では、昨年度、対話を重視した授業改革とICTの有効活用を取りまとめた資料を発行してきましたが、今年度から、各学校の管内教育推進の重点に関する取組を紹介し、後押しすることを目的とした資料「授業改革と動き育てる組織づくりのススめ」を発行することとしました。

本事例のポイントは、対話を通して自分の考えと他者の考えを比較・検討し、課題の解決を進めている点です。

## 対話を重視した授業改革とICTを有効に活用した授業改革の実践事例

### 北広島市立北の台小学校 第6学年 国語



グループで情報を集めて、提案内容を共有し、ICTを活用しながら対話を重ね、グループで文章の構成を考えました。

相手の提案のよいところに着目しながら、自分の考えとの関連性を見出し、主体的に提案文章の作成に取り組んでいました。

### 当別町立とうべつ学園 第4学年 算数



どの位までの概数にするのか、切り上げるのか、切り捨てるのか、四捨五入するのかなど、自分の考えを端末に入力し、友達と互いに説明し合う場面を設定しました。

友達の考えと比べながら、価値交換し、学習内容の理解を深めていました。

### 石狩市立樽川中学校 第2学年 社会



学習課題の達成に向け、ICTを活用して調べたことを基に、対話をとおして考えを深めました。

生徒にとって必要感のある対話の場面を設定することにより、生徒が課題意識をもって積極的に学習活動に取り組んでいました。

### 恵庭市立恵み野中学校 第3学年 数学



ICTを活用して他者参照の場面を設定することにより、自分と他者の考えの関連性を見出す価値交換を迅速に行っていました。

一人一人の状況を見取りながら「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながる取組を進めていました。

#### 【担当から】

管内全ての子どもたちの資質・能力の確実な育成・定着のため、本資料の内容を参考に、各学校における対話を重視した授業改革や動く組織づくりを一層充実させていきましょう。

(義務教育指導班主査 関口 祐太郎)